

「先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム」概要

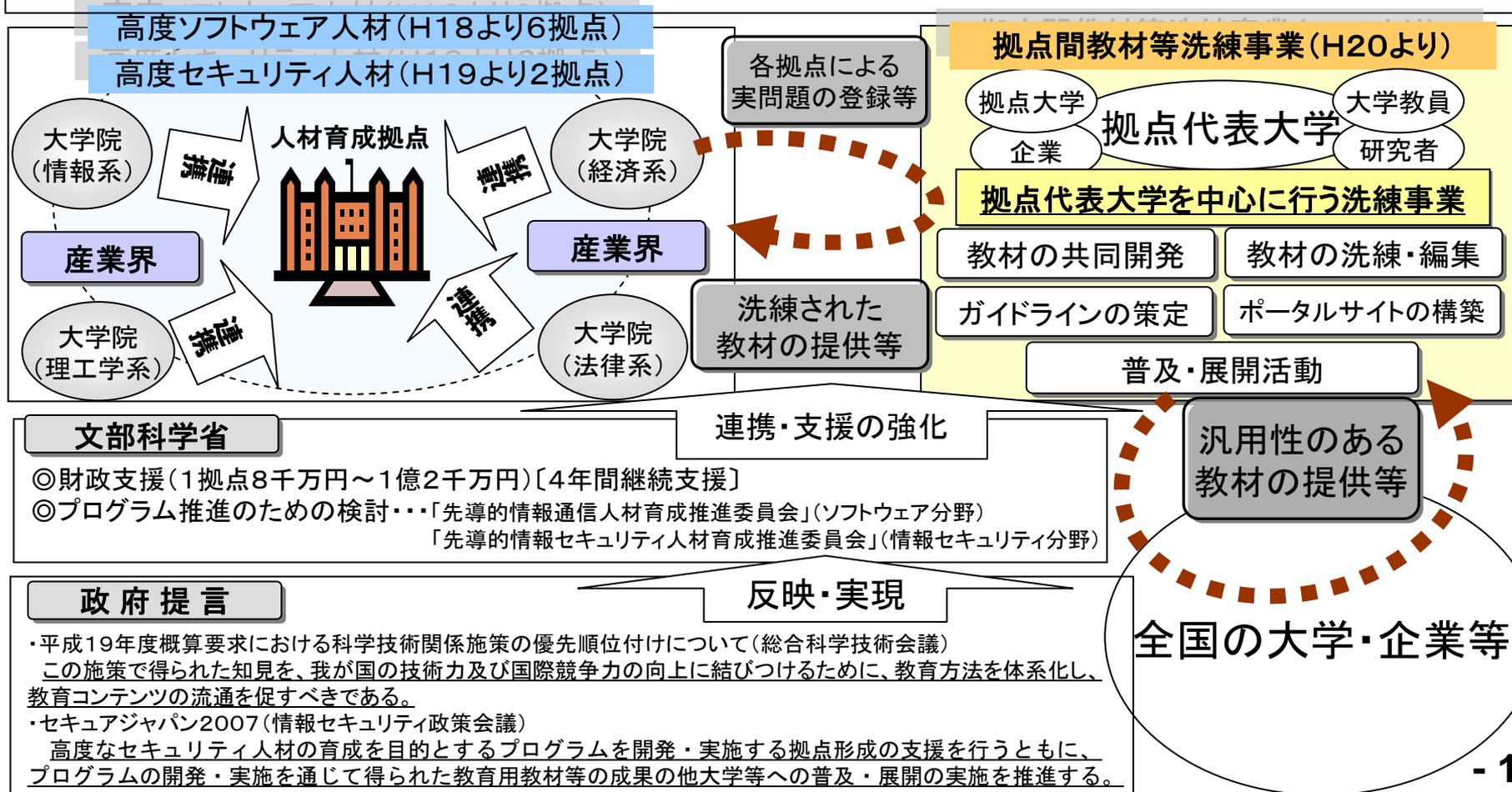
平成20年4月15日

文部科学省 高等教育局 専門教育課

「先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム」 平成20年度要求について

H20予算案:828百万円
H19予算額:798百万円

大学間及び産学の壁を越えて潜在力を結集し、教育内容・体制を強化することにより、世界最高水準のIT人材として求められる専門的スキルを有するとともに、社会情勢の変化等に先見性をもって対処し、企業等において先導的役割を担う人材を育成する教育拠点の形成を支援する。また、全国の拠点で多様なプログラムが展開され、その開発・実施を通じて得られた成果について、それを効率的に全国へ普及・展開するために、教材の共同開発、洗練、編集、ガイドラインの策定、国際シンポジウムの開催、ポータルサイトの構築などを行う拠点間教材等洗練事業を展開する。



平成18年度選定プロジェクト概要

大学名等	プロジェクト名称	概要
◎筑波大学 電気通信大学 東京理科大学	高度IT人材育成のための実践的ソフトウェア開発専修プログラム	IT企業13社と連携し、組み込みソフト系及びエンタープライズ系人材の育成のための実践的ソフトウェア開発専修プログラムを設け、実習やプロジェクトワークに重点をおいた教育を実施。
◎東京大学 東京工業大学 国立情報学研究所	情報理工実践プログラム	基盤カリキュラムと先端的工具を活用し、産学連携による実践工房において、技術創造と開発設計の相乗効果によるスペシャリスト育成を目指す。
◎名古屋大学 南山大学 愛知県立大学 静岡大学	OJLによる最先端技術適応能力を持つIT人材育成拠点の形成	ソフトウェア工学をメタ技術の観点から教授し、それを実際のソフトウェア開発へ適用するメタ技術展開力を、PBLとOJTの融合概念と位置付けるOJL (On the Job Learning)により涵養する教育カリキュラム。
◎大阪大学 京都大学 高知工科大学 奈良先端科学技術大学院大学 兵庫県立大学 立命館大学 和歌山大学 神戸大学 大阪工業大学	高度なソフトウェア技術者育成と実プロジェクト教材開発を実現する融合連携専攻の形成	関西圏の情報系7 大学院に分散している該当分野の卓越した専門家群を結集し、融合連携型専攻を構築。重要視する実践的教育については、参画企業と協働して、現実の開発プロジェクトそのものを教材として開発し、適用する。
◎九州大学 九州工業大学 熊本大学 宮崎大学	次世代情報化社会を牽引するICTアーキテクト育成プログラム	社会におけるICT の位置づけを理解し、高度な知識・倫理観・技術を兼ね備えた人材を養成するカリキュラムを開発する。PBL を中心とした実践系科目を充実させ、学生の主体性を伸ばすプログラム。
◎慶應義塾大学 早稲田大学 中央大学 情報セキュリティ大学院大学	先端ITスペシャリスト育成プログラム	学生参加型の研究プロジェクトやインターンシップを通じて実践的な力を養い、合同プロジェクトレビューにより、幅広い視点でシステムを分析・評価・検証することで、先導的な役割を担える人材を育成。

平成19年度選定プロジェクト概要

大学名	プロジェクト名称	プロジェクト概要
◎奈良先端科学技術大学院大学 京都大学 大阪大学 北陸先端科学技術大学院大学	社会的ITリスク 軽減のための情 報セキュリティ技 術者・管理者育 成	<p>民間・公共の各種組織において情報セキュリティ対策の立案遂行を主体的に実施しうる人材の育成を目標とし、組織管理技法および情報システムの総合リスク対策技術を体系的に習得するために関西圏を中心とした情報系4大学院により連携型教育コースを設ける。社会人を積極的に受け入れ、団体・企業からの招聘講師による最新動向を反映した講義および実践的演習を通じ、即戦力となりうる実務者を養成する。</p>
◎情報セキュリティ大学院大学 東京大学 中央大学	研究と実務融合 による高度情報 セキュリティ人材 育成プログラム	<p>情報セキュリティ大学院大学、中央大学、東京大学、NII、NICT と企業8社の産学連携による研究と実務を融合したプログラムにより、高度情報セキュリティスペシャリストを養成する。講義・実習とも充実した科目群による情報セキュリティに関する幅広い知識と高い実践力を備えたリーダー人材と、産学連携による高度かつオープンな研究会活動を通じて醸成される本質的な問題解決能力を備えた高度研究開発人材とを育成する。</p>

拠点間教材等洗練事業について

平成20年度よりスタート → 拠点代表大学を中心に以下の事業を実施

教材の共同開発

- 大学・研究者より企画の持込
 - ・ツール、手法の提案
- 企業側からのニーズ・課題の登録
 - ・ニーズに即した新しい教材の研究開発
- 共同研究・開発委託チームの立ち上げ

教材の洗練・編集

- 全国展開可能な良い教材の発掘と洗練
 - ・企業、研究者等が集まって登録教材をレビュー
- 教材の体系化、整備
- レクチャーノートの出版
- スキルレベルとカリキュラムモデルの提示

ポータルサイトの構築

- ・Web登録システムの構築
- ・情報共有システムの構築

ガイドラインの策定

- ・著作権、知的財産権の
共通条項制定

国際シンポジウムの開催

- ・IT先進国との高度IT人材の
将来像について等

拠点間教材等洗練事業協議会の設置・運営

- ・教員同士の連携窓口、企業と研究者の連携窓口
- ・各拠点による実施計画の進捗状況の確認、意見交換
- ・各拠点によるアウトプットの普及、展開方法の意見交換

各拠点による
実問題の登録等

洗練された教材
の提供等

汎用性のある
教材の提供等

